

祝・久米島から2団体が受賞! 地域づくり受賞

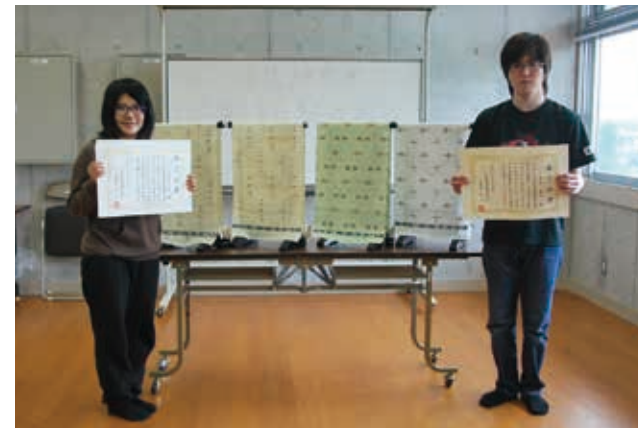
地域活性化に取り組む団体を表彰する「沖縄県地域づくり団体表彰」が3月22日に県庁で行われ、久米島町から2団体が受賞しました。特別賞に久米島ホテルの会(島村一司代表)、奨励賞に久米島ドリ一部チャレンジ(儀間一美代表)が選ばれました。

久米島ホテルの会代表の島村さんは「今後も島の自然を大切にしている多くの方々の期待に応えられるような活動を継続していきたい」と想いを語りました。



もうすぐ夏到来! 海びらき祈願祭・ビーチテニス大会

久米島町海びらき祈願祭が4月1日にイーフビーチで行われました。大田町長や比嘉観光協会会長など関係者が参加、1年間の海の安全を祈願し、海開きが宣言されました。また、海開きイベント「ビーチテニス大会」(主催:観光協会青年部)が8日に行われました。島内から過去最多の14チームが参加し、小学生から大人までビーチスポーツを楽しみました。優勝はKBTC(久米島ビーチテニスクラブ)、準優勝はサイプレスチーム。



久米島の伝統を守り受け継ぐために! 紬後継者育成 卒所式

町では、久米島紬の技術や文化の継承を目的に、後継者育成事業をおこなっています。平成29年度は2名が久米島紬ユイマール館において研修を終え、3月29日に卒所式が行われました。指導を行った桃原さんは「今年の生徒たちはとても熱心で、研修期間中に6反を織り上げた生徒もいました。そのまま続けて素晴らしい織手になってほしい。一人前になるようにサポートしていきます。」と話しました。

全国一斉1分間ペットボトル浮き ギネス記録達成!

昨年7月23日に、B&G財団は「全国一斉ペットボトル浮き ギネス世界記録に挑戦 ～海と日本プロジェクト～」を行いました。このイベントはペットボトルを抱えて水面に浮かぶ「ペットボトル浮き」により、同日・同時刻に1分間浮かんでいられる人数の世界記録に挑戦するというもの。当日は、全国各地のB&G海洋センターなど84か所で計2229名が参加(久米島町から22名参加)し、みごとギネス世界記録として認定されました。



自然豊かな久米島をもっと綺麗に! ミッション久米島愛ランド

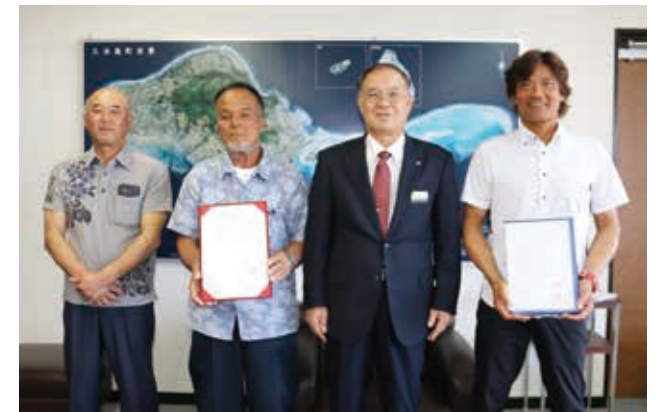
4月8日から3日間、国外から17名が来島し「ミッション久米島愛ランド」と題し、国際交流や清掃活動を行いました。これは、アルゼンチン在住で久米島出身のルーベン氏が、平成28年の台風18号の被災状況を目の当たりにし、心を痛め、世界中から賛同者を集めて実現したもの。アルゼンチンをはじめ、中国や台湾、キューバなどから参加したメンバーは、介護施設やじんぶん館などを訪れ交流したほか、ハテの浜の漂流ごみ拾いを行いました。



テレビ受難聴地域の解消に!

4月2日、テレビ受難聴地域に指定されている字島尻、字宇江城の両字と久米島町との間で共同受信施設更新費用に関する覚書の締結が行われました。

この事業は、山間地域のためテレビの電波が届きづらい地域をNHKと民放共同の施設を利用することによって、受難聴地域解消を目的に実施するもの。これまでテレビの画像が悪く緊急時の情報が受信できない状況を改善するため、事業費の一部を久米島町が支援するための覚書となりました。



「たんふあくる～」で卒業&進級祝い 真喜志菓子店より贈呈

真喜志菓子店(字仲泊)より、町内中学校(球美中・久米島西中)の全生徒へ、卒業・進級のお祝いとして「五角たんふあくる～」が贈られました。

この「五角たんふあくる～」は、久米島の名勝「畳石」をモチーフとし、「五角」と「合格」をかけ、高校受験を迎えた中学3年生にとって、縁起をかついだ一品です。

島の銘菓を食べて、それぞれの卒業・進級を祝って欲しいとの願いが込められています。



泊高校通信制課程 卒業 久米島町から3年ぶり

働きながら高校を卒業できる「沖縄県泊高校通信制課程」では、毎年230名の生徒が卒業しています。平成30年3月には、仲宗根美香(字仲泊)さんが卒業しました。仲宗根さんは「叶えたい夢ができ、通信課程に通いました。協力校の久米島高校に週1回のスクーリングと、毎週レポートを提出しました。先生方だけでなく、同僚などの協力があり仕事をしながらでも無事に卒業することができました。」と卒業を喜びました。久米島高校は協力校となっています。